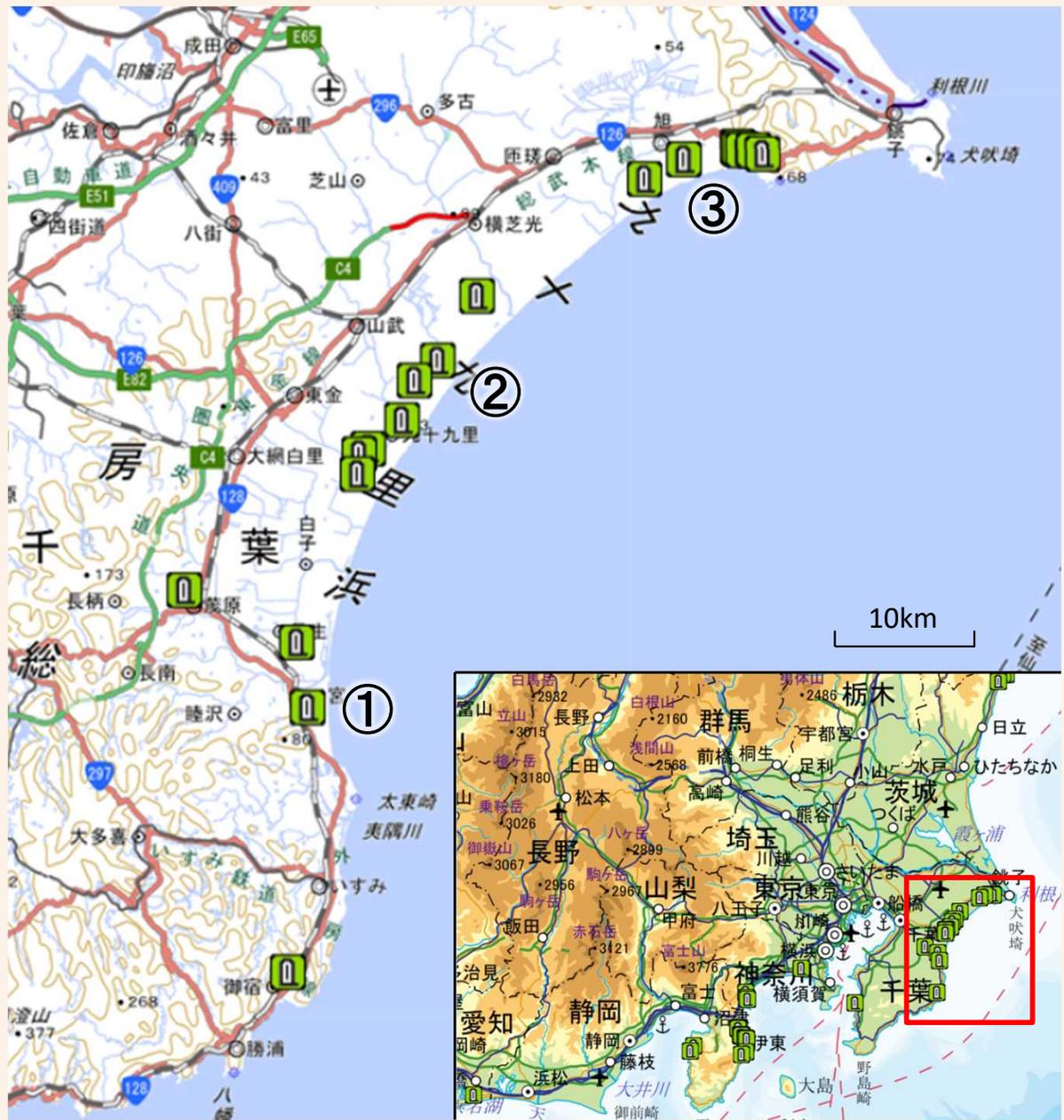


関東地方太平洋沿岸の津波伝承碑



関東地方の太平洋沿岸では、何度も津波の被害にあっていることがわかるね。

江戸時代に発生した元禄地震の津波では、静岡県伊豆半島でも被害があったよ。地理院地図で自然災害伝承碑を探してみよう。



① 延宝房総沖地震(1677年)

規模: マグニチュード 約8.0
被害状況: 房総で溺死246余

延宝房総沖地震により津波が発生し、現在の宮城県から静岡県伊豆東海岸までを襲った。



延宝の津波供養塔

② 元禄地震(1703年)

規模: マグニチュード 7.9~8.2
死者: 10,000人以上

元禄16年11月23日(1703年12月31日)に武蔵・相模・安房・上総を巨大地震が襲い、高さ4-8mの大津波が各地沿岸に襲来した。



次のスライドに解説があるよ

千人塚(元禄大津波供養碑)

③ 東北地方太平洋沖地震(2011年)

規模: マグニチュード 9.0
死者: 19,729人・行方不明2,559人

平成23年(2011)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、旭市には震度5強の揺れと、津波が沿岸部を襲った。

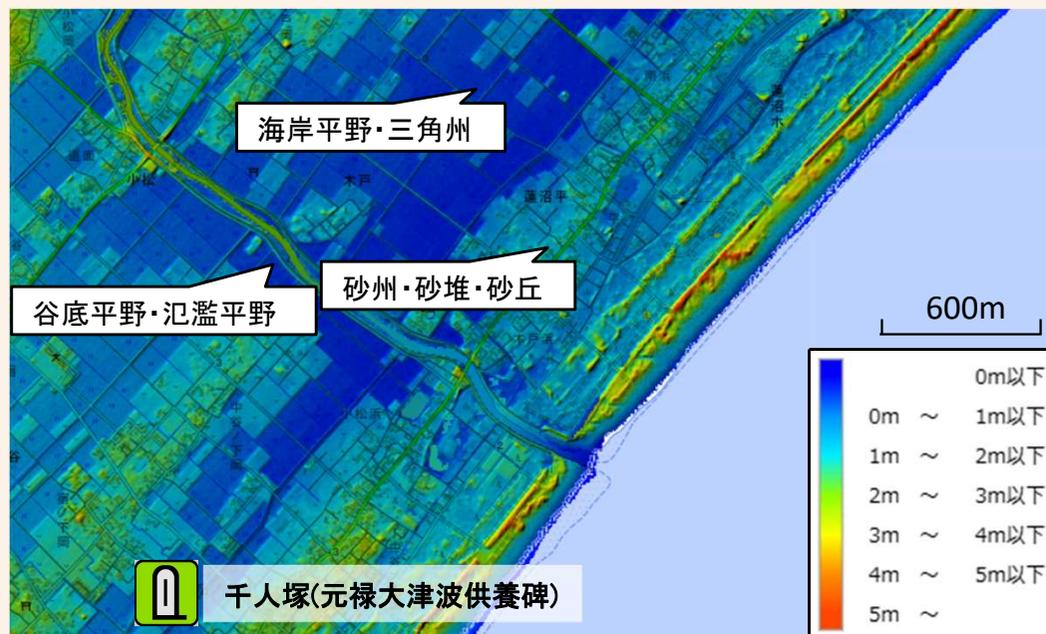


津波到達地点

地理院地図で見る自然災害伝承碑(津波)の分布

※ 各地震の規模、死者及び行方不明者数は理科年表2023(国立天文台 編)による。解説文は、自然災害伝承碑の碑文から抜粋した。

東北地方太平洋沖地震による津波浸水範囲と地形



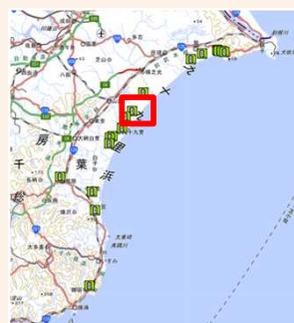
色別標高図



土地条件図

色別標高図を見ると標高の高い部分と低い部分が海岸線から交互に並んでいるのがわかるね。土地条件図ではどんな地形になっている見てみよう。

東北太平洋沖地震の津波浸水範囲はどんな地形かな。色別標高図、土地条件図と見比べてみよう。元禄地震の時も津波被害があったんだね。



② 元禄地震(1703年)

高さ4-8mの大津波が各地沿岸に襲来した。九十九里沿岸では五千人以上の死者を出すなど、悲惨な被害を受けたといわれる。



※ 自然災害伝承碑の伝承内容から抜粋 千人塚(元禄大津波供養碑)



東北地方太平洋沖地震 津波浸水範囲